

令和3年度学校関係者評価委員会のまとめ

高浜市立南中学校

1 本年度の取組

年2回開催を予定していたが、コロナ感染防止の観点より全回中止とした。

2 自己評価 ( 評価項目 A:十分達成、B:達成しつつある、C:不十分、D:ほとんど達成できていない )

中期経営目標	短期経営目標	成熟度による成果指標	校自己評価	
a 授業力向上	仲間とかかわることで自らの考えを深め、学び続ける意欲の醸成につながるよう、「学び合い」の授業の質を高める。	仲間とかかわりながら自らの考えを深めていくことができる授業	A	A
		学び続ける意欲の醸成	B	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業者が「学びの展開」をふまえた授業づくりをしようという意識が高まってはきている。しかし、まだ「活動ありき」でねらいが曖昧な「かかわり」や「グループ活動」も少なからずあった。授業づくりに意識が高まっている分、参観側となったときにもその視点で評価をしていくべきである。</li> <li>・目指す生徒像が「学び続ける生徒」とあるが、各教科における「学び続ける姿」を、生徒の具体的な姿で表現していきたい。これをふまえて、「授業メモ」や「窓」には、学び続けさせようとする手立てはあったか、なぜその姿に価値があるのかなどを意味付けや価値付けをしていきたい。</li> </ul>				
b 学級経営力の向上	「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う	一人一人の個性を生かした学級経営	A	B
		目標に向かって成長を続ける学級集団の育成	B	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営案は、前期終了時に自己評価をしているが、ふり返り時期のスパンを2カ月毎に短くし、自分が掲げた経営方針や手段の見直しや修正案を朱書きで上書きをしていくなどして、学級の実情に即した細やかな対応を取れるようにしていきたい。</li> <li>・コロナ禍の経験をふまえ、学校行事ありきの学年学級経営・生徒会経営をあらためて考え、生徒会スローガンを軸に据え、各自が自分の学級学年をより楽しく豊かにするために、何が必要でどうしたら実現できるか、自分たちで考え判断し、互いに協力を呼びかける雰囲気構築したい。</li> </ul>				
c 集団の中で課題を発見し解決する力をつけさせる指導力の向上	「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたってリーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会と場を保障する。	生徒主体の室長会、生徒会の活動	B	B
		リーダーとフォロワーが協調した活動の展開	B	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の経験は、困難な状況に置かれたときの南中職員や生徒たちの柔軟性や創造力、問題解決能力や粘り強さなどを実感する機会にもなった。そこで、後期の活動実績を何らかの形で全校</li> </ul>				

の場で評価すると共に、この雰囲気を消さぬように、次年度の自治活動の質向上につなげていきたい。

- ・室長会は経験豊富な学年主任が中心となって給食の時間に進めている。これを若手担任が学級経営の充実を図っていくためのノウハウを学ぶ機会として、副担任が給食指導に入ることで、若手担任が学年主任の進め方や回し方などを直接見て学ぶことができるようにしていきたい。

d まちづくりへの協働・貢献	まちづくりへの生徒の主体的なかかわりの場を保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。	生徒が主体性を発揮しながら地域と協働する活動	C	C
		地域の一員としての自覚をもった姿	D	

- ・日頃から地域との情報交換を密にし続けていくとともに、いつでも生徒が地域貢献活動に参加できるように、生徒にとって地域における新たな学びの場や可能性を模索したり、各地域から求められる学校や生徒に対する姿や使命に応えたりし続けようとする機運を高めていきたい。
- ・「地域とのかかわり」について、職員会などを通じて、「地域の一員としての自覚をもった姿」という本校の目指す生徒像を共有したり、意図的な指導や活動を教育課程に位置づけていくことを共通理解していく場を繰り返し保障したりすることで、その定着と意識化を図りたい。

特別な支援を要する生徒に対する指導体制の充実	指導組織の確立と実効性のあ る運用	特別な支援を要する生徒・不登校生徒の満足度	A
多忙化解消の推進	在校時間の縮減に向けて業務の見直しの推進	在校時間の縮減	C

### 3 自己評価を踏まえての次年度の重点目標（案）

重点目標	
自立した大人になるための基礎づくり -南中文化の向上-	
a 授業力向上	「学び合い」を通して学ぶことの達成感、充実感を感じさせ、将来の自立した学びにつながる授業を展開する。
b 学級経営力の向上	「級訓」「学級目標」を明確にし、一人一人の個性を生かしながら、集団としての成長につながる学級経営を行う。
c 生徒自治力の向上	「生徒自治」の精神を継承・発展させ、学校生活全般にわたって、リーダーを中心に生徒主体で計画・運営・評価しながら活動できる機会、場を保障する。
d まちづくりへの協働・貢献	まちづくりへの生徒の主体的な関わりの場を保障し、地域と協働して活動する中で、地域の一員としての自覚を高める。